

# 仙台塩釜港 港湾計画 一部変更



# 港湾計画変更の背景及び課題

## 《背景》

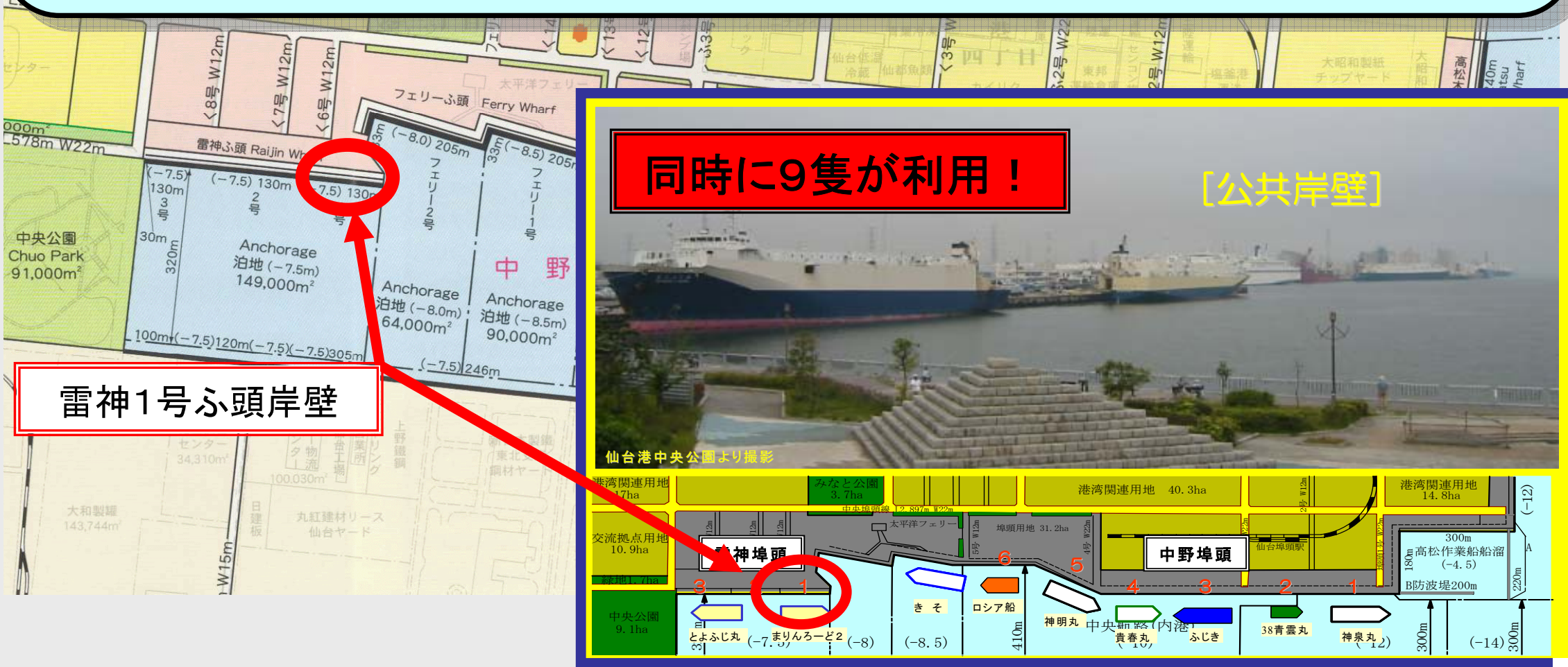
○ 宮城県沖地震の発生確率の高まり

**今後30年以内に99%の確率で発生** (地震調査研究推進本部地震調査委員会報告)

## 《課題》

○ 既定計画では雷神1号ふ頭岸壁に耐震強化岸壁の位置づけがある。

○ しかし、雷神1号ふ頭岸壁は稠密な利用がされており、施行が困難である。



# 港湾計画一部変更の基本方針

## ○耐震強化岸壁の配置を変更

今回計画  
高松木材ふ頭岸壁

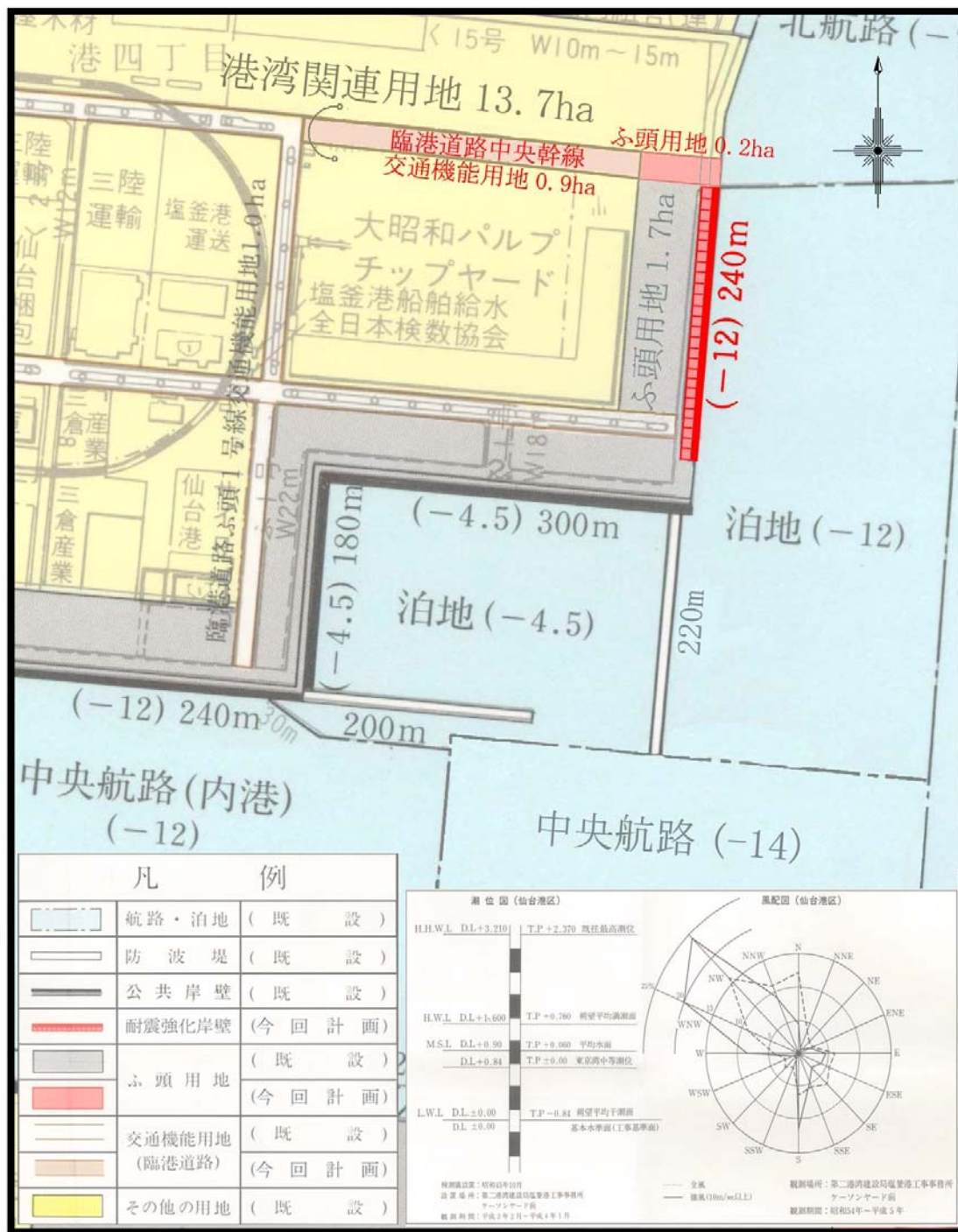
既定計画

雷神1号ふ頭岸壁

- 施行時において荷役作業に対する影響が他の岸壁に比べて小さい
- 既存岸壁の有効活用が可能(工事費の縮減)
- 単独での岸壁施行が可能(工期の短縮)

耐震強化岸壁の位置付けを高松木材ふ頭岸壁に変更

# 仙台塩釜港港湾計画図（仙台港区）

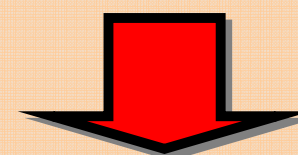


# 港湾計画一部変更の内容

## 1. 耐震強化岸壁の配置変更

### 既定計画

- ・ 岸壁名: 雷神1号ふ頭
- ・ 水深: -7.5m
- ・ 延長: 130m



### 今回計画

- ・ 岸壁名: 高松木材ふ頭
- ・ 水深: -12m
- ・ 延長: 240m

## 2. 上記変更に伴う施設整備

- ・ 臨港交通施設: 中央幹線の延伸 (W=30m, L=290m)
- ・ ふ頭用地: 0.2haの拡張